

項 目	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業打合せ(KY活動) ※現場責任者は、簡易風速計を携帯する。 作業内容の確認 作業人員の確認 保護員の確認 規制内容の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 資機材等落下災害及び飛散防止ネット転倒に関するKY活動を必ず行い実施する。 安全打合せ書による指示書の内容確認 業務マニュアルの活用。 KY活動 その日使用する手持ち式振動工具に関するKY活動の実施及び手持ち式振動工具取扱説明書を用いて工具取扱確認を実施。 安全シート等の確認
カッター工	<ul style="list-style-type: none"> 現場K&Eと安全確認(資機材等の落下災害防止、飛散防止ネット転倒防止) コンクリートカッターで施工予定ラインに沿って舗装を切断する。 	<ul style="list-style-type: none"> 現地打合せを行い、作業方針を関係者へ周知する。 ケーブルの位置を確認し、ケーブル側へカッターの歯を向けず。 機械使用後は、水抜きを行い、止めめをかつて路肩に置く。 ブーム付近には、手、足を近づけない。 手持ち式振動切創工具は切創手袋・切創防護衣を着装する。
はつり工	<ul style="list-style-type: none"> ユニックにて荷台から飛散防止ネット(重量タイプ)を車線反対側に吊り下ろす。 飛散防止ネット(重量タイプ)の組立 施工箇所へ移動 ロープ及び土嚢による転倒防止対策実施 現場での確実な安全確認の実施体制(実施方法) 点検項目 <ul style="list-style-type: none"> ①ロープ固定： 控えの位置は適切か、たるみが無いか、注意喚起がされているか ②土嚢固定： 設置位置は適切か、設置数量は適切か、土嚢質量(10kg)は適切か ③飛散防止ネット： 隙間が無いか、破損して無いか、設置位置は適切か 現場での悪天候等による実施判断 <ul style="list-style-type: none"> ①前日： 天気予報により工事担当者が判断 ②当日： 天気予報により現場責任者と工事担当者が判断 ③現場での悪天候等： 作業中中断する場合は、両柱に土嚢を1袋追加する。また中止にあっては、現場責任者から工事担当者へ報告を行い、工事担当者はHCSと調整の上、現場責任者へ中止指示を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 有資格者による作業を行う。(ユニック操作、玉掛) 車線反対側の安全な場所で行い、留め金具等にてパネル連結を確実に行う。 四隅に4人配置し、監視員の合図で移動を行う。(一般車に注意) 車線反対側の両柱上部をロープにより車両または防護柵等へ固定する。 且つ、両柱の1/3の位置にカラビナ付き土嚢(10kg)を2袋吊す。 点検項目①～③に沿って作業従事者全員で安全確認を実施する。 ※現場巡回、安全パトロールにおいても、必ず安全確認を実施 悪天候とは、強風:10分間の平均風速が毎秒10m以上の風、大雨:降雨量が50mm以上の降雨、大雪:1回の降雪量が25cm以上の積雪をいう。
アンカー・鉄筋設置工	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート損傷部分をブレーカー、ピック等を使用して、はつり取り はつり終了後は、綺麗に清掃する。 取り壊し検査を行う。 所定の位置・深さまで削孔し、アンカーボルトを打ち込む。 アンカーボルト・鉄筋を固定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 防護マスク、保護メガネ、耳栓を使用する。 橋梁下に落下物が無い様にシート、ウレタンフォーム等で養生を行う。 ブレーカーの外れ止めの設置 削孔等により鬆んだコンクリートは、撤去する。 アンカー穴は所定の深さまで削孔する。 有資格者による、機械作業を行う。 鉄筋切断時はキックバックに注意する。 手持ち式振動切創工具は切創手袋・切創防護衣を着装する。 溶接火花の飛散防止を行う。 溶接時には、消火器等を用意し火災に十分備える。 使用しない工具は、コンセントを抜き取作動がないようにする。 有資格者による、機械作業を行う。 手持ち式振動切創工具は切創手袋・切創防護衣を着装する。 溶接火花の飛散防止を行う。 溶接時には、消火器等を用意し火災に十分備える。
型枠工	<ul style="list-style-type: none"> 所定の高さに設置する。 打設したアンカーを溶接して、しっかりと接合する。 必要箇所に型枠を設置する。 鉄筋の配筋を検査する。 	
超速硬コンクリート打設	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート打設面を清掃し、水を散布し湿らせる。 また打設後は、素早く金鐘仕上げを行うこと。 仕上げ時、面取りを行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 車輛の移動時には、必ず誘導を行う。 センターライン付近の作業は、一般車に注意する。 保護めがね着用
養生	<ul style="list-style-type: none"> 養生は、通常3時間行う。 皮膜養生剤及びシート等で養生を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> シート養生は、風等での飛散防止処置を行う。 開放可能強度 24N/mm以上
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 はつりかす、材料かすが無い様に、綺麗に清掃する。

作業編成(標準)		機材		資材		安全器具・保護具	
現場責任者	1名	コンクリートカッター	飛散防止ネット(重量)	超速硬コンクリート	アンカー	ヘルメット	
作業員	3名	水タンク	土嚢、ロープ	溶接棒	外栓	反射(自発光)チョッキ	消火器
現場監視員	1名	コンプレッサー	ハンマードリル	鉄筋D13	グレーチング	警告	
先端監視員	1名	ミキサー	ブレーカー	ガソリン		粉塵マスク	
		スタンプ	溶接機	養生シート		保護メガネ	
		リボンロード	発電機			耳栓	

■注意事項(共通の指導事項)

- 作業に適した保護具を着装する。
- センターライン付近の作業は十分注意する。
- 各作業は、有資格者による作業を行うこと。
- はつり、清掃時、の小石等の一般車への飛散には、十分注意を行う。
- 火災防止処置を行う事。(消火器の設置)
- 保管等は、平積で保管する。
- 手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 作業で使用しない工具は、発電機を切るかコンセントを抜き、誤作動がおこらないようにする。
- 手持ち式振動切創工具は切創手袋・切創防護衣を着装する。
- 一人作業の禁止
- 現場で作業手順を変更する場合は作業を中止して、現場責任者から工事担当者へ報告を行い、工事担当者はHCSと調整の上、現場責任者へ指示をなすものとする。

ロープ固定



10kg×2袋

